

夫れ、仏法遙かに非ず、

心中にして、即ち近し

弘法大師空海 『般若心経秘鍵』より

立秋とは名ばかりの厳しい暑さが続くこの季節、檀信徒の皆様方に置かれましては、いかがお過ごしでしょうか。近頃は家の中にいても熱中症にかかることが珍しくありません。水分補給をしつかり行い、十分な対策をして、今年の酷暑を乗り切れるように共に頑張りましょう。

さて、この季節になりますと多くの寺院ではお盆の棚経参りが行われます。平福寺でも例外なく檀家各家を回り、お経をあげさせていただいております。昨年度より、私も住職と共に各家を回っておりますが、そもそも棚経とはなんなのか、何を行っているのか、疑問に思われる方も、中にはいらっしやるのではないのでしょうか。一年に一度のこの機会に、今一度

皆様と共に「お盆」について学んでいけたらと存じます。

棚経

棚経の「棚」とは、施餓鬼棚、または精霊棚・盆棚といったものを指します。お盆になりますと仏壇の前、あるいは仏壇とは別に、ご先祖様を迎えるために供物をお供えし、位牌を祀る棚を用意します。この棚の前でお経をあげる

ことから、お盆のお参りを棚経と呼ぶのです。当山の棚経では、まずお施餓鬼を行います。



お施餓鬼と聞くと、「ご先祖様は餓鬼の世界に落ちたのか」と思われる方がいるかもしれません。が、決してそれぞれのご先祖様方が、ということではありません。

「餓鬼」とは、生前に貪りの心をむき出しにして、自分一人だけが満足するために必要以上の物を欲しがり、盗み、その結果、餓鬼の世界に落ちた者を指します。餓鬼は常に空腹と喉の渇きを抱えています。お盆になると家に人やご先祖様が集まり、とても賑やかになります。餓鬼はそうした場所におこぼれを貪りに寄ってきて、時には悪さをするので。

そのため、お施餓鬼を行うことで餓鬼を供養し、先祖供養、寿命長寿の功德を頂くのです。良いことをすれば、そのご利益は自分だけでなく、周りにも向かい与える事が出来るのです。そもそもお盆に棚経を行うのは、お釈迦様の弟子の一人である、目連尊者のお話が由来とされていきます。

目連尊者は神通力の第一人者で、あるとき亡き母が餓鬼の世界で苦しんでいることを知りま

す。そのことをお釈迦様に相談すると、「母上の罪は重く、あなた一人ではどうすることもできません。僧侶たちの夏の修業が落ち着く七月十五日に、十方の大徳、衆僧に布施をなささい。布施の功德は大きいから、母上は苦難から免れるでしょう。」と教えられました。目連尊者がお釈迦様の教えのとおりにしたところ、その功德によって母親は無事に極楽往生がとげられました。これがお盆行事の始まりと言われています。

最近だとお盆を連休程度に考えている方もおり、先祖供養を行う方も減ってきているようです。たとえ時代が変わっても、先人が守ってきた文化や行事には必ず大事な意味があります。そうしたものをいつまでも忘れずに、大切にしたいものです。

防災訓練

七月十六日に檀信徒総代役員の皆様にお集まりいただき、平福寺にて防災訓練が執り行われました。当山観音堂の御本尊様である「木造聖観音菩薩立像」は、県宝に指定されている重要文化財です。防災訓練は、こうした地域の宝を守り残していくため、三年に一度総代役員の切り替えが行われるこの機会に行っている、当山の恒例行事になります。



防災訓練の様子

まずは火災発生時の通報訓練、

その後本尊様に見立てた模型を用いた持ち出し訓練、水の入った消火器を用いた初期消火訓練、消火栓の使用方法の確認、最後に消防局の職員の方から講評をしていただきました。有事というものはあつてはならないもので、ないに越したことはありません。それでも、いざという時に、知識があるのとないのでは、大きな差があります。今回の訓練ではそうした知識をはじめ、地域の宝を守っていくという共通認識を持つことが出来たかと思えます。

また、今回の訓練で行ったことは、皆様のご自宅におかれましても、火災時に同じ方法で対処が可能なかと存じます。有事の際に、少しでも本訓練で得た知識を活用して頂けたら幸いです。

訓練に参加していただきました皆様、誠に有難うございました。



今回のお言葉

今月号のお言葉は、弘法大師空海和尚晩年の著書、『般若心経秘鍵』に出てくる一節です。

般若心経秘鍵とは、お大師様が般若心経について綴られたものです。夫れ、仏法遙かに非ず、心中にして、即ち近し。現代語に訳すと、「そもそも仏様は、遙か遠くにいるのではなく、我々の心の中にあつて、まことに近いものである」となります。人は皆、仏になるための種子、仏心を持っています。仏心という種子を咲かせるためには、水や肥料となる、お経を読んだり、写経をしたり、六波羅蜜を実践するなど、外的要因が必要です。しかし、そもそも種子がどこにあるのか知らなければ、何も始まりません。お大師様は、誰もが当たり前持っている仏心の存在を、気付かせてくれているのです。

年間行事

- 一月 厄除け祈願大祭
- 三月 春季彼岸会・涅槃会
- 四月 研修旅行
- (阿字の子会主催)
- 五月 春季例祭・大般若会
- 七月 高野山参拝旅行
- 八月 夏季例祭・大施餓鬼会
- 九月 秋季彼岸会
- 十二月 二年参り

お知らせ

- ・墓地分譲中
- ・傳燈館予約受付中
- ※ホームページまたはお電話にて申し込みいただけます。
- ☎：〇二六三三七七二四二五

ホームページ

下のQRコードよりサイトに移動できます。※周りの方に広めて頂けたら幸いです。

